

➤ 22日 木曜

テサロニケ I

2:13 こういうわけで、私たちもまた、絶えず神に感謝しています。あなたがたが、私たちから聞いた神のことばを受けたとき、それを人間のことばとしてではなく、事実そのとおり神のことばとして受け入れてくれたからです。この神のことばは、信じているあなたがたのうちに働いています。

2:14 兄弟たち。あなたがたはユダヤの、キリスト・イエスにある神の諸教会に倣う者となりました。彼らがユダヤ人たちに苦しめられたように、あなたがたも自分の同胞に苦しめられたからです。

2:15 ユダヤ人たちは、主であるイエスと預言者たちを殺し、私たちを迫害し、神に喜ばれることをせず、すべての人と対立しています。

2:16 彼らは、異邦人たちが救われるように私たちが語るのを妨げ、こうしていつも、自分たちの罪が満ちるようにしているのです。しかし、御怒りは彼らの上に臨んで極みに達しています。

2:17 兄弟たち。私たちは、しばらくの間あなたがたから引き離されてきました。といっても、顔を見ないだけで、心が離れていたわけではありません。そのため、あなたがたの顔を見たいと、なおいっそう切望しました。

2:18 それで私たちは、あなたがたのところに行こうとしました。私パウロは何度も行こうとしました。しかし、サタンが私たちを妨げたのです。

2:19 私たちの主イエスが再び来られるとき、御前で私たちの望み、喜び、誇りの冠となるのは、いったいだれでしょうか。あなたがたではありませんか。



2:20 あなたがたこそ私たちの栄光であり、喜びなのです。

パウロはテサロニケの人々に真心と愛を持って伝道したので、その 伝道したので、その関係は美しいものであり しいものであり続けました。ですから「あなたがたこそ私たちの栄光であり、喜び」と言っています。そのようなすばらしい人間関係がもたらされるのですから、それ もまた希望として、福音を宣べ伝えましょう。 またテサロニケの人々は、パウロのことばを「神のことばとして受け入れ」ました。特に聖書 が神のことばとしてある今は、聖書の語られた内容は、それが人を通してであっても、神のことばとして、謙遜に真剣に聞きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

